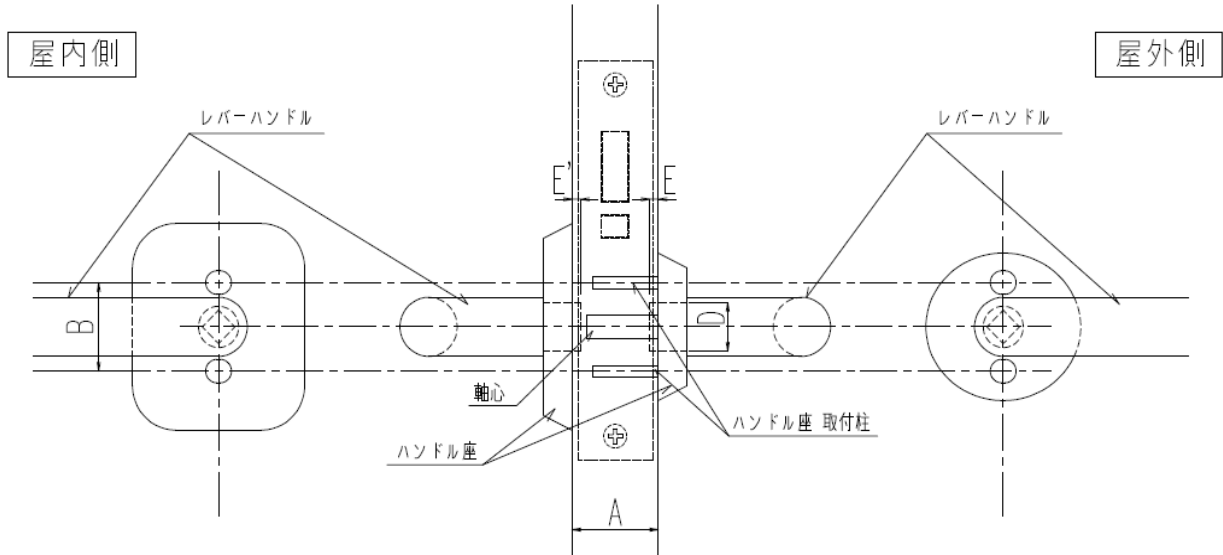


1. 対象部材  
アルミ勝手口ドア用レバーハンドル

略称：CjK レバーハンドル

2. 標準(共通)化の部位  
標準(共通)化の部位を図1に示す。



- A : ハンドル座 表裏間寸法
- B : ハンドル座 取付柱ピッチ
- C : レバーハンドル 軸心寸法
- C' : レバーハンドル 軸心寸法
- D : ハンドル のみ込み部 外縁
- E : ハンドル のみ込み部 深さ
- E' : ハンドル のみ込み部 深さ

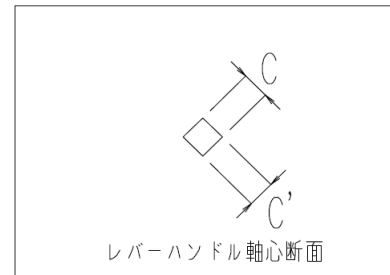


図1－標準(共通)化の部位

3. 寸法・形状  
図1の各部位の寸法を表1に示す。

表1－各部位の寸法

単位：mm

項目	寸法		
	①	②	③
A : ハンドル座 表裏間寸法	30		
B : ハンドル座 取付柱ピッチ	30	34	
C : レバーハンドル 軸心寸法	8	8.5	8.6
C' : レバーハンドル 軸心寸法	8	8.5	
D : ハンドル のみ込み部 外縁	16.5	18	16.5
E : ハンドル のみ込み部 深さ 室外	0	5	3.8
E' : ハンドル のみ込み部 深さ 室内	0	5	1.5

#### 4. 表示方法

部材・印刷物・電子媒体などに、長期使用対応部材であることを表示する。  
または、“CjK”マークを表示する。

#### 5. 特記事項

##### 5.1 対象の範囲

- ・アルミ製勝手口ドア用のみとする。
- ・CjK部材基準書”055 アルミ勝手口ドア用レバーハンドル錠”並びに、“056 アルミ勝手口ドア用レバーハンドル空錠”の使用を前提とする。

##### 5.2 関連部材の具備すべき条件

- ・勝手口ドアの切り欠き加工は、レバーハンドルが納まる形状とする。

#### 6. 解説

特になし

#### 7. 共通事項

##### 7.1 寸法について

寸法は基準値を示し、公差・許容差を表すものではない。

##### 7.2 交換について

交換については、専門知識を有する者が行うことを推奨する。

注記)専門知識を有する者とは：専門的知識、技術、経験を有する者である。